

事業実績シート

1 事業の概要

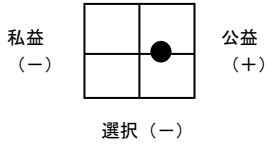
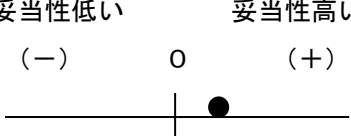
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	そのぎ茶販路拡大支援事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	東彼杵町	農林水産課	松下 崇宏	0957-46-1111
事業期間	開始年	平成26年6月27日 (3年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	(開始日) 平成28年8月1日 (完了日) 平成29年3月10日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 <small>※住民視点を踏まえて記載してください。</small>	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	そのぎ茶		そのぎ茶の知名度向上、ブランド確立、販路拡大、消費拡大	
助成事業の具体的内容 <small>※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。</small>	県外の特産品展示販売会場と、県内のイベント会場特設ブースに出展し、「そのぎ茶」の魅力や観光素材を情報発信することで販売促進を図る。また、町内の飲食店において「そのぎ茶」を試飲提供し、「そのぎ茶」でおもてなしの心、“且座喫茶の理念”を推進し、地産地消による消費拡大を図る。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>緑茶においては、消費者の生活様式の変化や嗜好の多様化、食のグローバル化などにより、緑茶の消費減少が続く、茶価の低迷、生産経費の増大などから茶業情勢は非常に厳しい状況にある。</p> <p>このため、本町の特産品である「そのぎ茶」の知名度向上を図り、「選ばれるお茶」としてのブランド確立を図り、消費拡大とともに販路の拡大を図る必要がある。</p>			
(経緯・現状)				
<p>町内の茶業に関係する茶生産者団体・茶商・JA・町で構成する「そのぎ茶振興協議会」は「そのぎ茶」の普及啓発と銘柄確立に取り組んでいる中、年々その活動成果が実り、県下においては長崎県産茶「そのぎ茶」として浸透してきたが、茶業の環境が厳しい中、今後は県外に向けても広く情報発信し、長崎県産茶「そのぎ茶」の知名度向上と普及拡大によって、全国的なブランド化を図る必要がある。</p>				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		682,000	1,200,000	1,000,000					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	341,000	600,000	500,000					
	一般財源	341,000	600,000	500,000					
成果 (活動) 指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	アンテナショップでのPR	都市圏居住者へ、そのぎ茶の名前と味を発信できたと考える。	事業	目標				1
					実績				1
					目標達成率 (%)				100
	②	参加型イベントでのPR	県外からの来県者へ、そのぎ茶の名前と味を発信できたと考える。	事業	目標				1
					実績				1
					目標達成率 (%)				100
	③	“且座喫茶条例”制定によるそのぎ茶の消費推進	町内飲食店利用者へ、そのぎ茶の名前と味を発信できたと考える。	事業	目標				1
					実績				1
					目標達成率 (%)				100

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い (ー) 妥当性高い (+) 		(影響内容、程度等) 本町の特産品である「そのぎ茶」は、生産の茶生産者及び流通の茶商と茶業界にかかる町内関係者が多く、本町の産業振興品目の1つであり、近年の茶業を取り巻く環境が非常に厳しい中で、茶産業の衰退は本町産業への影響が大きく、総合的な事業展開の取組みと支援対策が必要である。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		各イベント施設や町内飲食店との連携が図られ、そのぎ茶を十分PRできた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日		東京アンテナショップやねんりんピック長崎での出展は反応が良かったため、更なる販路拡大のため、出展事業回数を増やす。また、“且座喫茶条例”制定によるそのぎ茶の消費推進についても、引き続きそのぎ茶で乾杯等の推進を行う。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		すでに外部団体への活動支援という形をとっている。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		参加者負担を差し引いた残りの事業費が町の補助対象となっている。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					